夕刊　臺灣日日新報

來襲の六機を擊墜破
マーシャル諸島に敵蠢動

上陸用舟艇二隻擊沈

航空戰の熾烈化必至
基地建設に敵野望逞し

今後

露呈

第二豫備金支出決定

窒息、潰滅の一路辿る
在支米空軍全く孤立化

剰す

昆明

本年

人員

敗戰

天機、御機嫌奉伺
長谷川總督電報を奉呈

蠢動敵空軍に大打擊

陸鷲長沙に巨彈の雨

總力あげ資源開發
戰勝へ一意戰力增强

地方長官に聽く（七）

長谷川　花蓮港廳長

皇奉

忠臣

早急

戰力

細川(陸軍)田村(海軍)兩少佐
鑛工局事務官仰付けらる

日本藥劑師會設立

地方參事官會議開く

衆院年內議事決定

地方長官會議成果

三師長戰死を發表

醫藥品、衛生物資確保對策要綱決定

ソ聯、獨將校らを處刑
獨政府報復手段斷行を言明

クロアチアに赤色テロ暴路

獨報復言明に米英兩國衝動

東部戰線戰況

伯林の防空陣完璧
ゲッベルス宣傳相演說

獨機ロンドン空襲

土國政界緊張

久宗臺拓副社長退職

人事

米活字工罷業
四大紙發行不能

ブ島地上作戰米陸軍引繼ぐ

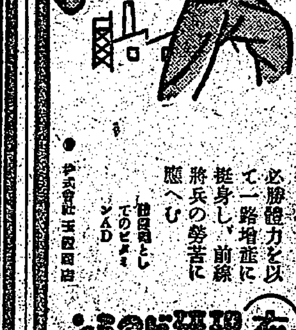
米誘夕島の苦戰逆襲

テラポール軟膏

創傷　膿腫　面皰　痔疾

創面の淨化　化膿の防止　肉芽の新生　輕便にして快適の効果　好評を博す

第一製藥株式會社



勝たざれば祖國なし

必勝體力を以て一路增産に挺身し、前線將兵の勞苦に應へむ

糖衣　理研ビタミン

新年號　主婦之友　決戰國民動員號　（四十錢）

★あなたの「主婦之友」を、どうぞ隣組またはお知合ひの方に御回覽してください。お買漏れの方も「主婦之友」はぜひ借りて讀んでおいてください。

婦人防寒勤勞服

婦人産業戰士の監督者の座談會

ブーゲンビル沖海戰

敵米國の暴虐真相　交換船　大嶽康子

防空必勝の訓練　角中佐指導

◇空襲下の乳幼兒をどうする　齋藤博士　◇空襲下の救護法　日本赤十字社指導　◇脚絆つき防空足袋と手甲の作方

◎闘ひたずばやまじ　松村大佐
◎日本精神講座　齋藤　劉
◎戰時榮養食と保存食
◎酒粕榮養辨當とお菓子
◎火なし焜爐の作り方
◎勤勞者の訓練道場　訪問感激記
◎母の戰果　吉川英治
◎挺身隊　櫻田常久

皇太子さまの佳き日

お健かにけふ第十回御誕辰

[illegible]

竹の園生の彌榮

全島に溢るる慶祝の誠心

[illegible]

廻り來る香港攻略の日

感激の思ひは新た

この目で見た英鬼の最期

入城の想出語る　福山芳子さん

[illegible]

夜空を…

[illegible]

廣東、留日學生の聯歡會

[illegible]

在りし日の柴崎少將家族と記念撮影…寫眞は向つて左より柴崎少將・令孃和さん・令息晃君・よし子未亡人

戰爭第三年と米戰力【上】

少年少女まで狩出す

人的資源の窮乏深刻化

[illegible]

重慶投降將校の語る在支米空軍近況

[illegible]

無辜の華人を殺傷

その日暮しの盲爆に意氣銷沈

[illegible]

母子愛育會發會式

[illegible]

出來ました

入學適齢兒名簿

父兄は區會事務所へ

[illegible]

土木決戰に備へよ

内務技監鈴木雅次氏談

[illegible]

汪主席彈丸摘出手術

…陸軍病院で成功

[illegible]

新春常會徹底事項

大政翼賛會、全國に通達

[illegible]

學徒決戰の空へ

高雄州下から百七十二名志願

[illegible]

嘉義市會

[illegible]

乳幼兒保健指導に

臺灣小兒保健報國會を結成

[illegible]

慢性マラリア一掃へ

花蓮港廳で近く調査開始

[illegible]

二十五日熱帶醫學會例會

[illegible]

兩氏着任

[illegible]

硬貨回收を徹底

[illegible]

廣東博愛會支部日曜休診を廃止

[illegible]

高橋大尉告別式

[illegible]

登山と遠足

[illegible]

今夜の番組

[illegible]

（40）　村松梢風作

[illegible]

癲癇（ひきつけ）　再發防止の實驗良劑　家傳…

痔と皮膚病　カミッタス

敵輸送船團を攻撃

マーカス岬附近に 艦船艇四十八以上撃沈破

【東京發至急報】大本營發表（十二月二十二日十六時十五分）

帝國海軍航空部隊は十二月二十一日午前、午後二回に亙りマーカス岬附近の敵輸送船團を攻撃し、左の戰果を收めたり

（一）第一次

（イ）敵に與へたる損害

撃沈　大型輸送船三隻、特殊輸送船（若くは中型輸送船）四乃至五隻、巡洋艦（若くは大型驅逐艦）二隻

上陸用舟艇一隻

撃破　驅逐艦一隻（炎上大破）小舟艇多數

（ロ）我方の損害自爆未歸還五機

（二）第二次

（イ）敵に與へたる損害

撃沈　特殊輸送船二隻、魚雷艇二隻、上陸用舟艇約三十隻

撃破　驅逐艦一隻（炎上大破）掃海艇一隻（大破）輸送船一隻（大破）上陸用舟艇多數（大破）

撃墜　四機以上

（ロ）我方の損害自爆未歸還五機

輸送船並びに上陸用舟艇は第一次第二次共に全部上陸前にして兵員及び軍需品を滿載しあり

撃沈破比率七割五分

【東京電】二十一日ニューブリテン島マーカス岬沖海戰における出撃敵兵力並に戰果比率左の如し

第一次　大型輸送船—出撃兵力三隻、撃沈三隻特殊輸送船若しくは中型輸送船—出撃兵力七隻、撃沈四隻乃至五隻

巡洋艦若しくは大型驅逐艦—出撃兵力五隻、撃沈二隻

驅逐艦若しくは掃海艇—出撃兵力二隻、撃破一隻、上陸用舟艇—出撃兵力多數、撃沈一隻

第二次　特殊輸送船—出撃兵力二隻、撃沈二隻、掃海艇—出撃兵力二隻、撃破一隻

海上トラック—出撃兵力四隻

驅逐艦—出撃兵力一隻、撃破一隻

上陸用舟艇—出撃兵力四十隻以上、撃沈三十隻、撃破多數

魚雷艇—出撃兵力不明、撃沈二隻

大型輸送船—出撃兵力一隻、撃破一隻

合計　—出撃兵力六十四隻以上、撃沈四十三隻乃至四十四隻、撃破四隻以上

出撃兵力に對する撃沈破率—七割五分

上陸前に捕捉猛攻

出撃敵船團大部分を水葬

【東京電】わが海鷲並びに陸鷲[illegible]

[illegible]

撃沈破百十八隻以上

十五日より廿一日まで マーカス岬附近戰果

【東京電】去る十五日以來二十一日に至る間ニューブリテン島マーカス岬附近[illegible]

一、敵に與へたる損害

[illegible]

二、わが方の損害　自爆、未歸還二十二機

衡陽、長沙、桂林を痛爆

【〇〇基地二十二日發同盟】[illegible]

タラワ マキン 兩島を連日爆撃

軍事施設等に巨彈の雨

【東京電】十二月二十日ギルバート諸島タラワ、マキン兩島に[illegible]

一、タラワ島

イ、十二月廿五日夜間、[illegible]

ロ、同二十六日未明、[illegible]

ハ、十二月四日[illegible]

ニ、十九日未明、[illegible]

二、マキン島

イ、十二月八日夜間、[illegible]

ロ、同十三日夜間、[illegible]

ハ、同十五日未明、[illegible]

短期乍ら劃期的成果

臨時地方長官會議閉幕

【東京電】二十二日の臨時地方長官會議は午前中東條首相の訓示に[illegible]

社説

玉碎の報に士氣百倍す

[illegible]

大東亞戰完遂祈願

[illegible]

「一億の努力」戰勝の鍵

地方長官會議席上 東條首相烈々の訓示

【東京電】二十二日の臨時地方長官會議における東條首相の訓示は次の如し（要旨）

[illegible]

陸戰隊　[illegible]

波瀾の　[illegible]

急務は　[illegible]

制約は　[illegible]

政府と　[illegible]

運營上　[illegible]

對策を　[illegible]

集注す　[illegible]

航空機　[illegible]

努力を　[illegible]

御稜威　[illegible]

武力と　[illegible]

國民の　[illegible]

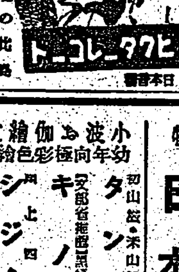
大戰爭　[illegible]

けふの官報

[illegible]

みたび迎ふ十二月八日

南方愛國歌集



ビクターレコード

通信機 電波機

東京芝浦電氣株式會社

通信工業支社

南洋經濟研究所編　大南洋地名辭典　第四卷　蘭領及佛領印度支那　A5判462頁　定價（税込）15.71

本書は南洋を對象とする事業家及南洋研究家に對して好箇の指針たらしむると同時に一般邦人の啓蒙に資する如く編纂し地名により檢出する南洋百科辭典たるもので斬新な構想を以て詳明されてゐる。

理・農學博士 田所哲太郎編　榮養化學　A5判670頁　定價（税込）9.79

本書は消化、吸收、榮養、生長の各方面に亙り、食物と人體との密接不可分な關係を巨細に解說したものである。

工學博士 荒木鶴雄著　活性炭素　A5判359頁　定價（税込）2.32

丸善株式會社

同文館

東京小石川區水道端

アメリカ戰時經濟と金融統制　新刊

最適工業經營論　末松玄六著　新刊

そろばん物語　竹内乙彦・濱口清著　新刊

新時代の人生觀　佐藤慶二著　新刊

日本學としての日本倫理學　藤原武著　新刊

生命的現實の哲學　田代秀德著　近刊

近世國體思想史論　伊東多三郎著　新刊

壺を祀る村　國分直一著

揚子江上流の戎克　ウォセスター著　須藤利一譯

明解商業簿記　中山甲子男著

國際十進分類法

東京都小石川區

文部省・出版會推薦

江田島

戰爭とからだ

飛行機

日本のお祭

波多野色彩繪本

タンポポノオヒッコシ

キノコノキノコノスケ

シジミノリュウグウイキ

ボクハキンタラウ

小學館

航空機の聖戰完遂の〔…〕

遠藤兵器總局長地方長官〔…〕の協力要望

遠藤長官口演要旨

昭和十九年度生産計畫概況

前線も銃後も一心 〝征け後續義勇隊員〟

お山に滾る決死の赤誠

鄕郷義勇隊員の話

遊興飲食税は卅割

直接税は全面的に引上實施

……てゐるのをはじめとし法人税、特別法人税、臨時利得税、相續税、登錄税、地租、家屋税及び營業税等直接税の全面に亙つて税率引上げが實施される他、間接税についても酒税、物品税及び遊興飲食税その他に亙つてそれ〳〵相當程度の增税が行はれるが、遊興飲食税の如きは最高三十割といふ高率引上げが豫定されてゐる、今次增税案に關し特に注目される點を示せば左の通りである

東鄕元帥誕辰記念祭

きのふ海軍武官府構内で擧行

臺灣東鄕會本部では例年の通り故元帥誕生の日二十二日午前十一時より臺北海軍武官府構内に於て東鄕元帥誕辰記念祭を執行したが參列するもの增田本部長、原田海軍少將以下役員、武官府より菊池大佐、谷岡少佐、櫻井大尉その他多數の參列者を迎ふるもの多數參集、この皇國未曾有の決戰下に明治の大御代に皇威を世界に輝かした海の英雄に崩る偉業を奉讃すると共に今次大の米英擊滅戰に捧ぐべき誓を新たにした海の先覺の靈前に參拜し同十一時四十分閉式した

國民奉祝の時間

元日午前九時　全國一齊に宮城遙拜

【東京電話】輝く皇紀二千六百四年の元旦は謹んで聖壽の萬歳を壽ぎ奉ると共に大東亞戰爭第三年決勝の歲に當り、大政翼贊會では同日の午前九時を期し「國民奉祝の時間」を決定し全國一齊に宮城遙拜を行ふ事になつた、遙拜の時刻はラジオを通して周知し汽車、汽船、電車、バスなどの乘車中その他集合の場合には乘務員又は司會者が知らせる事になつてゐる

必勝・朗らかに闘へ

勝利の途自ら拓く

海軍大將高橋三吉氏談

決戰の大東亞を率いた米英國は昨年八月ガダルカナルに進攻以來、わが陸海軍に向つて猛烈な反攻の手を向け、南方戰線では連日彼我の死闘が展開されてゐる、我が大戰果を收めても敵は次から次へと補給して來る、敵の反攻は實に侮り難いものがあるが、大東亞戰爭第三年を迎へて戰局の前途は愈々重大化する時、海軍長老高橋三吉大將は左の如く語り、今こそ全國民は敵の物量に對抗し戰鬪に勝ち拔く一億の決意を新たにして、國民の大部分は自ら拓けるの所以を明かにした

波上道な

し道縱橫

消耗を無視し猪突

米本土攻擊

明朗に戰爭せよ

必勝の信念

休暇返上決戰服で

皇奉の年末年始實踐要項

◇年末年始の休暇

◇年末年始の虛禮無

獻納

◇服裝も決戰服

出前さんも「エイ・ヤー」

料理屋組合で非常訓練

防空群の强化へ

臺北市 全防空群の要員調査

目標五十六萬人

日赤臺灣支部 社員增强運動展開

基隆軍人會館

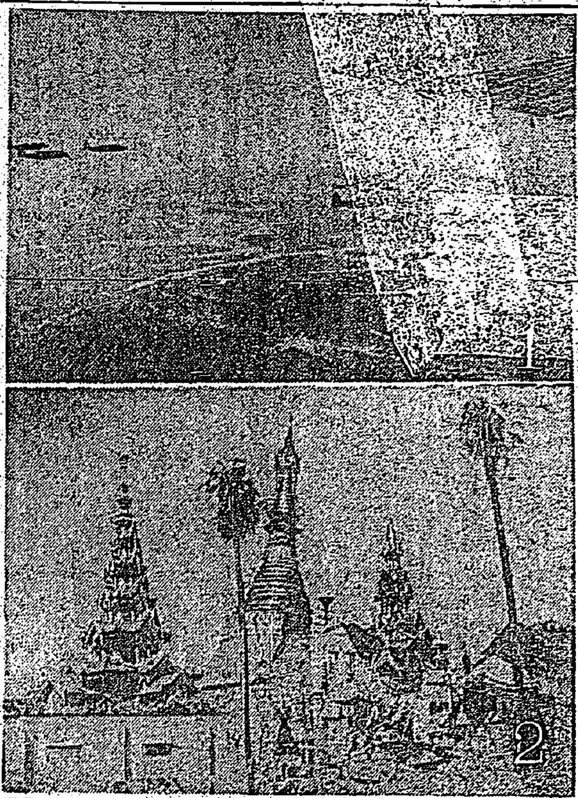
きのふから開館

決戰輸送確保へ

きのふから實施 荷物事故防止週間

役員家族の言葉

山の人々の言葉



(1) 我が荒鷲の大攻擊……ベンガル灣上空に殺到する我が空の大編隊 (2) 見よ敵空軍の非人道振り、ビルマ人信仰の的パゴダ爆擊、無殘にも倒潰に瀕せるプタタンパゴダ（陸軍省許可濟）

森部鑛工局長金瓜石瑞芳視察日程

臺中の特別志願兵銓衡日程

今日の放送

第一放送

第二放送

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　大平館　第三世界　中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

嘉義・臺南・高雄地區

新竹の映畫

新竹劇場　有樂館

基隆劇場

臺日案内

株式名義書換停止　昭和織維工業株式會社

株式名義書換停止　臺灣水産販賣株式會社

株式名義書換停止　三河商工株式會社

タイピスト　邦文　アザ　女給　婦人　男子　賣家　家讓　貸間　貸事務所　貸事　賣電話　交換　KI　ラジオとレコード　結婚　轉宅　引越　陸上　衣類　植木　メガネ　特許　斷食　植木　結婚　防空　謄寫　葬儀

第參拾參回決算公告　吉野屋商店

第十七期決算公告

第拾壹回決算公告　國際映畫株式會社

最新版　髑髏錢　二十三日封切　嵐寬壽郎　市川春代　花柳　名二役　日本映畫界に最大の誇りを以て贈る大衆篇！　臺劇

葬儀　父野崎芳藏　儀　七十九歲ノ高齡ヲ以テ十二月廿二日午前五時帝大病院ニ於テ永眠致候……

妻チカノ儀　病氣療養中ノ處十二月二十二日午前零時五分死去仕候間此段謹告仕候　中山忠松

次男故陸軍上等兵永井均儀　去ル七月十七日比島方面ニテ戰死致候……

父常吉儀　病氣加療中ノ處不相叶十二月二十二日午前九時四十五分死去致候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告仕候

當社取締役井上常吉儀　昭和十八年十二月二十二日午前九時四十五分永眠致サレ候間此段謹告仕候　臺灣鹽乾魚配給統制株式會社

會葬御禮　西川滿

會葬御禮　伊東伊代吉